

2028ビジョン

期間：2017-2028

【めざす姿】 リニアがもたらす大交流時代に『飯田の価値と魅力』を発信し学びあい未来をひらくミュージアム

【重点目標】

- ①「伊那谷の自然と文化」の総合的なガイダンス機能を高め、地域の魅力を広く紹介します。
- ②「地域振興の知の拠点」の一翼を担うべく、「交易と交流」を視点に「飯田の価値と魅力」を探ります。
- ③多様な学びに学術的に応え、文化の創造と地育力の向上に寄与します。

方針

【調査研究】

- 飯田の価値と魅力を明らかにし、成果をまちづくりに生かせる調査研究
- 飯田の価値と魅力を高めるためのテーマや対象を明確にした調査研究
- 市民等と協働する調査研究の裾野拡大、調査研究活動の担い手育成

【資料収集保存】

- 伊那谷の自然と文化に関する学術研の資料センターとしての機能向上
- 博物館資料の増加や貴重な文化財等の地域資源の保存への対応
- 他の教育研究機関等と連携した収蔵場所の確保の検討

【展示公開】

- 伊那谷の自然と文化の特徴を紹介、飯田の価値と魅力を発信
- 調査研究成果を活用したまちづくりや市民の学びに応える企画展示
- 多様な展示方法の導入や展示解説の充実によるわかりやすく楽しめる展示

【教育普及】

- 市民の学びの多様化への対応と、学び合いの場としての機能向上
- 子ども達への学びの提供や市民がまちづくりの参考となるプログラムの提供
- 他の教育研究機関等と連携した教育普及活動の推進

【管理運営】
学芸活動の体制

基本プラン

期間：2021-2024

中期目標：来館者に親しまれ、学びの多様化に対応する教育普及活動と情報提供環境の構築

【重点取組】

- 来館者が気軽に訪れ、学びたいものや美しいものに触れることのできる市民目線での事業展開と施設管理
- 社会教育機関が連携した子どもや地域への学びの場の提供と自主活動への支援
- 資料データベースの整備と、展示解説や教育普及活動の充実と情報化
- 学芸活動を深化、発展させる人材の維持確保 ○他の社会教育機関と連携した収蔵場所確保に向けた検討
- プラネタリウム投影機器更新についての検討

活動方針

【調査研究（テーマ）】

- 自：伊那谷の自然環境から見る飯田の多様性固有性
- 人：文化の回廊としての伊那谷の特質
- 美：菱田春草研究の拠点、伊那谷の芸術文化の特質
- 天：プラネタリウムの活用、全天映像の可能性調査

【資料収集保存】

- 自：自然史資料、自然教育用基礎資料の充実
- 人：地域を学ぶ資料センター機能の充実
- 美：伊那谷の美術品、資料の収集保存
- 天：オリジナル番組の適切な保存

【展示公開】

- 自：身近に感じ理解できる伊那谷の自然
- 人：「文化の回廊としての伊那谷」の紹介
- 美：春草常設展示の充実と新たな創造力
- 天：地域紹介番組の制作と多目的活用

【教育普及】

- 自：自主教材や現地を利用した学び環境や防災教育に繋がる学び
- 人：歴史などの様々なテーマから地域を学ぶ
- 美：芸術文化の振興に寄与する学び
- 天：天文宇宙教育プログラムの提供

主な取組

- 自：エコ・ジオパークの基礎研究、気候変動影響
- 人：神楽等とユネスコ無形文化遺産登録支援 民俗芸能等の調査記録
- 美：菱田春草研究と資料調査、資料集刊行

- 共通：関係機関連携による収蔵場所確保検討
- 美：伊那谷の美術品、資料の収集保存

- 自：最新情報を伝える展示更新
- 人：文化や歴史を物語る他との連携した展示
- 美：没後110年特別展などによる春草の顕彰
- 天：ドーム映像、中継映像の活用

- 共通：参加体験型、出前型のプログラム実施
- 自：エコ・ジオパーク、環境教育の普及支援
- 人：子ども達に先人を知る機会を提供
- 美：複製画による出前鑑賞授業
- 天：天文宇宙に関する各種事業の展開

【学芸活動の体制】

【管理運営】